



# 学 校 通 信

令和5年度  
第2号

令和5年6月  
西土佐分校発行

## ○分校農園開墾式 5月1日(月)

分校農園(大地の恵み)、9度目の開墾式を全校生徒・教職員で行いました。畑は芝藤さん(津野川)に無償でお借りしています。畝上げ、マルチ張りなど、慣れない作業も全員で協力して何とか行うことができました。枝豆、ミニトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、シシトウなど自分たちが作りたい作物を選び定植しました。7月には収穫祭を予定しています!・・・ちゃんと収穫できるか心配ですが・・・

また、11月には分校農園で育てた野菜を収穫祭として、「道の駅よって西土佐」で販売をおこないますのでよろしくをお願いします。



## ○新入生歓迎行事(スポーツ大会・BBQ) 4月29日(土) 5月2日(月)

新入生に早く分校に慣れてもらおうと、生徒会主催の新入生歓迎行事を行いました。スポーツ大会では、縦割りの3グループに分かれ、バドミントンやスカッシュバレーを楽しみました。また、3年ぶりに網代で飯盒炊飯、バーベキューを行いました。四万十川で水切りをして楽しんだあと、お肉をお腹一杯食べました。新入生も打ち解けて、笑顔がたくさん見られました。



## ○サツマイモつるさし(西土佐小学校1年生と一緒に) 5月10日(水)

西土佐小学校1年生(7名)と分校3年生がサツマイモのつるさしを行いました。サツマイモは種でも球根でも苗でもなく、つるをさします。横に寝かせた状態で、茎だけを埋めて葉を出すのは初めての経験でちょっと難しそうでしたが、分校生の指導で上手につるをさすことができました。「根も生えていないつるからどうやってさつまいもができるの?」と不思議に思った生徒もいたはずですが、この経験が小学生の理科の学習にもつながるはずです。秋には「大きなおイモ」ができることを楽しみに待っていてください。

また、サツマイモはヒルガオ科の根菜で秋に旬を迎える、甘くて栄養豊富な作物です。育て方はとても簡単で、暑さや乾燥にも強く、土壌を選ばず痩せた土地でもよく育つので、初心者にもおすすめの野菜です。ぜひ大人になったら自分で育ててみませんか?収穫後、冷暗所で管理することで長期間保存ができます。品種によって甘さや食感に違いがあります。ホクホクした食感のもの、ねっとりとした食感のものなど、様々な種類があるので、好みを選んで栽培してくださいね。



### ○総合的な探究の時間（エビ筒づくり 4月28日（金）・米ナスの定植 5月15日（月））

昨年度から実施しているエビ筒づくりや投網体験は、西土佐地域の伝統漁法を後世に伝承したいという思いで今年度も探究活動を行っています。また、西土佐の食文化は、美しい山々に囲まれ、清流四万十川の奇麗な水や自然の恩恵の上に成り立っていることについて深める学習となるはずです。



露地栽培面積日本一を誇る西土佐地域で行政（西土佐産業建設課）や西土佐JA青壮年部の方々の協力を得て、分校生の米ナス栽培がスタートしました。心待ちにしていた雨よけハウスも出来上がり、探究活動が一層本格化してまいりました。地域の産業を知るための探究活動の一環として始まった米ナス栽培は、全員が未経験者です。全力で栽培し西土佐商工会と連携を図り、将来的には高校生による商品開発を行い、地域を元気に盛り上げたいと考えています。



暮らしの土台である毎日の『食』を切り口に西土佐地域を知り（学び）、そこにある課題が自分とどうつながっているかを考え、食文化や社会の仕組み、環境などに関心を広げ、「まとめて・書いて・発表する」探究学習にしたいものです。そして食に対する感謝の気持ちや農業の大切さ等について理解を深め、一人でも郷土愛を持った人材を育成をしたいと思っています。

### ○高知県高等学校体育大会（令和5年度県体） 5月20日（土）

須崎市浦ノ内カヌー場で県体が行われました。3年生松浦菜々子さんがカナディアンシングルで四国大会、インターハイの切符を掴むことができました。8月上旬に山形県月山湖で行われるインターハイに出場してきます。2年生もカヤックフォア2位で健闘、1年生も目標にしていた全員完漕をすることができました。

全校の生徒、教職員の応援が力になりました。



### ○救急法実技講習会 5月31日（水）

先日、2年ぶりとなる救急法実技講習会を、四万十消防署西土佐分署の方々に協力していただき実施いたしました。今まで保健の授業で学んでいた知識を基に、今回の実技講習に臨みましたが、いざ倒れている人を見ると、パニックになってしまうということを生徒は実感できた様子でした。だからこそ、もしもの時には冷静になり、今回の実技講習で学んだことを思い出してもらえればと思います。

